

ピングーとは

「ピングー」は1980年、スイスで誕生したクレイアニメーションの作品です。南極に住むペンギンの男の子「ピングー」とその仲間たちのほのぼのとした毎日をつづったこの物語は、彼らの何気ない日常の驚きや喜びが私たちの思い出と重なり、あたたかさや幸せを届けてくれます。

クレイアニメーションならではのかわいらしくゆかいな動きと、国境を超えて理解される不思議な言葉「ピングー語」によって「ピングー」は世界の人々に愛されています。

そして、楽しく優れた映像作品として数多くの賞に輝いています。

※詳しくはこちらの URL をご参照下さい。 (<http://www.sonymusic.co.jp/MoreInfo/Chekila/Pingu/>)

登場キャラクター

■ピングー

ピングーは、南極に住む小さなペンギンの男の子です。パパとママと妹のピンガの4人家族で、仲良しのロビと一緒に楽しく暮らしています。

やんちゃで元気なピングーは、好奇心が旺盛です。ときどき失敗をしたり、いたずらをして怒られたりしますが、家族想いでやさしいところがあります。誰からも好かれる人気者です。



■ピンガ

ピンガは、ピングーの妹。物語が始まってから生まれました。まだ赤ちゃんですが、やんちゃなところはピングーに似ています。ピンガは卵の時からおてんばです。ピングーにいたずらされることもありますが、本当は優しいピングーのことが大好きです。



■ロビ

ロビは、ピングーと大の仲良しのアザラシ。友だちと皆で一緒に遊ぶのが大好きで、ボール遊びや魚つりが得意です。ピングーとは、時々ケンカをしますが、すぐに仲直り。ピングー達は何でも遊びにしています。



■パパ

パパは、スノーモービルに乗って郵便配達の仕事をしています。家にいるときは家事をこなしたり、ピングーやピンガの相手もします。いつも優しくとても頼れるパパです。



■ママ

とても優しいママ。ピングーがいたずらをするとき時々怒るけど、ピングーとピンガにたっぷり愛情をそそいでいます。料理が上手で、優しく、しっかり者のママです。

